

西荻窪地域

No	まちへの思い、デザイン会議について
1	JR西荻窪駅周辺にひと休みできるスペースの実現を希望します
2	デザイン会議じたいどのようなものかもっと詳しく知りたい。
3	情報が公開された上で、行政が住民の意見を聴く場として成り立つことを期待します。 「どうやったらこの提案を実現できるか」という目線が職員の中で持たれるかどうかはとても重要です。
4	パートナーと一緒にいきます。どんな感じの会になるのか楽しみにしております。
5	区に関わる杉並のまちづくりにデザインの発想が入ることに大きな期待を抱いています。
6	西荻窪というまちは一言では言い表せない面白さと心地よさのあるまちです。ゆっくりと無理なく、良いものはそのままに、改善すべきことは地域の合意の上で変化していくことを望んでいます。では誰がそれを決め、どうやって実行していくのか。住民はお客様ではなくまちの変化の主体となりえるのか。ここから「西荻デザイン会議」という船に乗り込んで、誰もまだこの先がわからない冒険が始まります。わくわくしつつ怖くもありますが、怖さを乗り越えていくのに必要なのはコミュニケーションではないでしょうか。行政、事業者、住民などお互いが尊重しあい発展する活発な対話がたくさんありますように。
7	街をぶち壊さないで欲しい
8	区民の声を聞いてもらえる機会が増えてありがたいと思っています。自分ごととして地域のことを考え、実行していく人が増えたら暮らしが豊かになると思います。ありがとうございます
9	個性ある西荻窪として、今後の街づくりが進んで欲しいです。大手ではなく、小さな起業でも、これからの若い人たちに、可能性が持てる経済的支援だったり、店づくりをする時のアドバイスだったり、直接話せる機関もあつたらいいんじゃないでしょうか。
10	132号拡張道路沿線の住民です。区長就任後の「さとことプレスト会議」に参加して、やっと拡張への疑問や街への思いを伝えることができました。「良い街をつくりたい」という思いは、皆にあります。ここをスタート地点として、どんな街にしていきたいかを真剣に考え、異なる意見にも耳を傾けあい、丁寧に対話を積み重ねていく「デザイン会議」になることを希望しています。
11	コロナ禍が少々落ち着いてきた今、区長はじめ区政に携わる方々と区民が、直接コミュニケーションできる貴重なチャンスを十分に生かせると良いですね。 前は、スマホを介しての不自然な進行に、少々失望しましたので…
12	私が参加したさとことプレストの会は、言いたいことを言えし、それが未整理とはいえ記録が残っているなど、とても良かったと思っています。 デザイン会議では、話し合いの積み重ねをどのように蓄積するのか、というのも大切ですし、また、そこで決められたことをどう具体的に反映させていくのか、目標が定まっているとなおいいのではと思います。具体的には、デザイン会議の場で「まちづくりルール」の素案が作れればいいなと思います。西荻の場合ですとたとえば、都市計画道路沿道の建替の際に、1Fは住居でなく商店を入れるように促すようなルールをつくる、とか。
13	親子三代にわたり西荻窪の善福寺川に隣接した土地に住んでいます。次世代に誇れるまちづくりを目指したいと考えています。
14	大学卒業後就職し西荻を離れ、37年ぶりに戻ってきたのが3年前。マンションが増えていますが西荻は基本的に変わっていません。これが良いことなのかそれとも違うのか自分にはわかりません。区や当地域区民の皆様の意見をお聴きしたいと思いました。
15	さとことプレスト西荻窪一般区民の回では、ほとんどの人が道路拡幅は不要だ、嫌だ、代わりにこうしたらどうか、と話した。当時はまだみんな「対話」の結果が取り入れられて何かが変わるという期待をしていて、真剣に話し合った。ところがそれをまったく無視してシンポジウム、デザイン会議と拡幅前提で進んでいる。阿佐ヶ谷、高円寺でも同様と聞く。「デザイン会議で言えばいいのに後で文句を言う」と言われるのが嫌なので、仕方なく参加を申し込みます。区民の意見をリスペクトせず、はいはい素人考えを一応聴きました、おしまい、あとは決まったとおりやります、のパターンばかり。ものすごく疲れる。絶望するために参加するようなもの。
16	まちづくりにバリアフリーの視点を少しでも取り入れていただければ幸いです。
17	まちづくりの方向性などを議論できればと思います。
18	西荻窪地区で参加した際、当該地より遠距離の住民の意見が多く事業協力者の意見を取り上げてもらいたい。反対ありきの雰囲気、どのような町づくり、ニーズが有るのかを協議して進めてもらいたい。
19	できるだけ多くの方々の意見を聞いて、まちづくりを自分ごととして考えていきたい。でからことの最大限のアイデアをつのり、誰もが楽しめる街づくりをしていきたい。
20	デザインの仕事をしたり教えたりしているものです。杉並生まれ杉並育ちです。杉並が好きというか馴染んでいて離れないでずっといます。現区長の言葉を直接聞ける機会を楽しみにしております。

21	<p>はじまりの会には都合がつかず、参加できませんが、次回からは参加希望です。 継続的かつ参加しやすい会議の設定をお願いします。 新しい道路計画や建物の新築、改修計画には市民の希望とアイデアが確実に反映されるよう希望します。</p>
22	<p>安全で住みやすく町並みが綺麗で人が優しい杉並が大好きです。住んでいる人がより豊かになって、他の地域の人がうらやましいと思うようなまちづくりをデザイン会議に期待します。</p>
23	<p>さとことプレストを追いかけてはおりませんでした。誰もが歩きやすい、商店街に活気があり、週末に来訪者が多く来てくれて、ゆっくりお散歩してくれる雰囲気はとても好ましいと感じています。非効率だったり、面倒だったりするほうが、返って愛着に繋がっていったり、ヨコ道が新たな発見、気づきになったり、そういう、余白のある町や道が素敵だと思います。</p>
24	<p>私はこじんまりしたレトロな感じが好きで西荻窪に住んで24年になります。街の様子がどんどん変わっていくのを実感している昨今です。骨董店や靴屋さんや金物屋さんなど昔ながらの個人商店がつつぎ無くなって、スーパーがでまンションが立ち並ぶようになりました。それでもまだ近隣の区市と比べると杉並区(特に西荻窪)はおだやかで個性的な雰囲気が感じられる街並みが残っています。この杉並らしい街を守っていきたくと思っています。</p> <p>どんなまちが好きかは、感覚や年齢や経験の違いで人それぞれです。でも人の意見を聞いたり体験したり年齢を重ねることによっても変化していきます。いろんな人の意見を聞いて、知らなかったことを知って、自分の知識や感覚をみがいていくことも大切なことだと思います。そういう意味で、住民同士がまちづくりについて意見を交わし合うことは有意義なことだと思います。</p> <p>今杉並区では、都市計画道路という街を一変してしまう大きな問題をかかえています。この問題を抜きにしては一般的にまちづくりについて語り合うことはできません。</p> <p>私はまさに道路計画の沿道に住んでいる住民として、日々不安な毎日を送っています。その思いをほかの住民のかたがたにも知ってもらえたらと、切実に思っているところです。</p> <p>「道路拡幅計画の推進を前提にしてまちのデザインを考える会議」にはしたくありません。</p> <p>今は、しゃれた「デザイン会議」という名称に疑問も感じています。</p> <p>ぜひみなさんの意見も聞きながら、会議の目的が何なのか、どのような話し合いの場がよいのかを考えてみたいと思っています。</p>
25	<p>さとことプラストで浮かび上がった課題の共有をデザイン会議の始まりのきっかけにするのがよいと思います。</p>
26	<p>これからの世代に魅力ある街になってほしいです</p>
27	<p>西荻の道路拡幅問題を契機に、現状をふまえ未来へビジョンを持ったまちづくりの礎となる様な住民主導型の会議となることを願います。</p> <p>杉並・西荻には街への愛着や暮らす地域への意識が高い方が多いので、行政にはそこから起こる住民のチカラをサポートする立場で協力してもらい様な関係が築けることを期待しています。</p> <p>海外や地方自治体の事例も取り入れ柔軟な都市計画のモデル地域となる様進めて行けたら理想ですね。</p>
28	<p>商店会会長の立場として各店舗の行く末、対応が気になる。</p>
29	<p>西荻にある小さな商店や、商店街を盛り上げたい。潰さないで欲しい。 地域住民と商店と楽しい街にしたい</p>
30	<p>街全体が安全で美しくなるように、他の立場の皆様と話し合い協力できる場になればと思います。</p>
31	<p>杉並環境整備隊の創設 地域活性化、美化</p>
32	<p>地域の思いがつくる街を実現してほしいです。 現在の必要性から考えるだけではなく、将来の姿を考えながら、話し合いたいです。</p>
33	<p>杉並に住んで40年、子どもたちにとって愛着のある故郷としての杉並の街を守っていきたくと思っています。</p>
34	<p>西荻窪に住んでいる人・飲みに来ている人・街歩きに来ている人が「西荻ってやっぱりいいよね」と言わしめる西荻窪の多様性・寛容・奥深さが、22世紀にも受け継がれていくように、デザイン会議がハブの一つとなるよう期待しています。</p>
35	<p>以前、西荻まちづくり協議会に参加した流れでのご案内を頂きました。</p> <p>当時は、発足当初は参加者ともども西荻の今後のまちづくりをそれぞれ自由な発想で、西荻の個性である多様性が濃くなかなかイメージ決定に至らず数年経過のうえ、コロナ禍となり、その後オンラインで開催頂いたものの、区側の主眼が駅周辺の道路拡張整備だと分かり、参加者から多くの批判が起り、なし崩しの運営を残念に思っていました。</p> <p>区長および行政体制が変わってからおよそ初となる今開催は、果たして最も大切なテーマに運営側、参加者とも進んでいけるかどうか、</p> <p>自身のコミットメント含めて志し高く参加させていただきます。</p> <p>なお、私自身は八王子在住ですが、会社が西荻にて参加させて頂いておりましたが、地元でない目線からのお役割も出来れば幸いです。</p> <p>よろしくお願いたします。</p>
36	<p>西荻窪らしさのあるまちづくりができると良いと思います。</p>

37	西荻らしい街づくりに期待しています
38	杉並区がもっと住みやすい街になることを願っています。
39	私のような独身女性も地域に参加しやすい環境づくりを期待しており、その実現に何かしらの形で貢献出来ればと思っておりま す。
40	そろそろ、期限を切って物事を決めていかないと区民が離れる可能性があります。上げる時は、時間がかかりますが、下がるの は一気に下がります。
41	西荻窪は駅前に高層のショッピングビル等が無く、平面的に街並みが出来ており複数方向への街路も特徴的で其々個性的で大 変良い環境で有る。 特に呑み屋街は独特で女子でも入り易い雰囲気は素晴らしい。文士の街の面影が残り、古本屋が歴史が長く充実していて学 術ムードは高く文化度を高めて居る。 道路拡張や整備が検討が一部進んでいるが、 その肌感覚的に感じる雰囲気を残し特に東京女子大の最寄り駅の学問的文化的のムードを生かして若い女性が集う街の維持 形成に尽くして頂きたい。
42	西荻窪の道路拡幅工事で影響を受ける者です。区長が替わって工事計画に何か変更が生じたのか知りたいです。
43	西荻窪で生まれてから、ずっと長い間暮らしてきました。小さい頃、西荻窪南口から五日市街道まで賑わっていた商店街もさび れてしまいましたが、今も味わい深い街です。西荻窪らしい雰囲気を更に深めて、賑やかな南口に出来たら嬉しいです。
44	さとことプレストは、賛成、反対に安易に分けるのではなく、インクルーシブなどでもよい会でした(見守ってくださった区役所の方 にも感謝申し上げます)。今後、どのように意思決定のステージに向かっていくのか、その過程も地域の一員としてご一緒し たく、参加を楽しみにしています。
45	住んでいる地域をより良くしたい、という参加者の想いを感じ、微力ながら、自分でも何かできるのであれば、と思っています
46	都市計画道路整備によって、意に反した立ち退きを迫られる区民がいるのであれば、その都市計画は見直されるべき。計画の 根拠に住民主体の意思表示が盛り込まれていなかったなら、計画に固執して住民の意思を押し潰すような都市計画は、自治体 として受け入れるべきではない。東京都の計画だというなら、杉並区はそれに従うのではなく、それを排除する行政計画を立案す るべきだ。
47	コロナ禍前に数年間西荻窪の街づくり会議に参加していましたが、参加者間の当事者意識に大きな温度差があり、非常にもど かしさを感じていました。 「さとことプレスト」には抽選外れで参加出来なかったのが、今回のキックオフミーティング？がどの様に進められるのか、につい て強い興味を持っています。
48	美しく安全な街づくりを期待します。
49	前回のさとことプレストでは、区長の考え方が聞けた。引き続き、今後の杉並区の展望を聞きたい。
50	区長に対して、懐疑的な意見も耳にしますが、区長は区民の意見を聞いてくれる姿勢があるので参加しています。また、西荻窪 はとても好きな地域ですので、今の良さを保って欲しいと考えています。
51	新しくなる西荻が楽しみです。 緑の多い街になり、歩道を自転車爆走しない工夫がほしい。
52	自分たちの日常や暮らしの延長として、地域社会やまちづくりというものが、少しずつ考えられてくるようになって来たのだなど喜 ばしく思っています。
53	このような催しを初めて知りました。 地域活性のために参加したいです。
54	西荻窪はまちのみなさんが、地域のことを真剣に考え意見を自由に交わし対話の多いのが特徴です。まさに、岸本区長のお考 えと共有できるまちであると思っています。 デザイン会議については、何が始まるのかまだまだ不明瞭なのですが、対話のできる場になることに期待しております。
55	お知らせの封書をありがとうございます。前回は何より区長のさとこさんが参加されていたことが斬新で良かったです。雑談もさ せていただき親近感を持ちました。またお堅くならないファシリテーターの進行も上手いなと思いました。私は西荻窪北方面の 道路拡張のことすら知らずに参加しましたが、後日報告レポートも届き、杉並区自治体の前向きな姿勢を感じました。会の内容 というよりは、このような行政の努力を「すぎなみ学倶楽部」で紹介したいと思いました。(年数回ですが、区民ライターとして区 のテーマとなるものを企画取材し、web上に執筆する活動をしています。おそらく区の部署は横つながりが無さそうなので掲載は 難しいと思われますが。)地域への思いとして、普段お知らせや広報を受け取ることが少ないので、区民との対話の機会をぜひ いろいろ増やしていただきたいと思っています。

56	このような機会をいただき誠にありがとうございます。2013年に米国より帰国して以来一貫して西荻在住(夫婦+小学生の娘で暮らしています)。町中に娘の友達ができる西荻の素晴らしさ・西荻ならではの面白さを失わずに、未来に向かってまちをデザインする機会にしていきたいと考えており、非常に期待しております。
57	「子どもの居場所」がテーマの回に参加しました。その後何度か区の話し合いや意見聴取や説明会に参加しました。どの回も工夫がされてファシリテーションをプロに任せたり、区の職員が仕切ったりで意見を言わせて終わり。というものもありフィードバックが不足もどかしい場面もありました。しかし区長の訴えである対話の区政が必要だと思い至りました。多くの会合では自分たちの暮らしや街のことを真面目に考えて実践している人々が参加しており皆どの意見も意味があり素晴らしいです。時間はかかりますがぜひ継続してください。前区長のリーダーシップに見せかけた身勝手な横暴や恫喝はもう二度とイヤです。ありがとうございます。
58	わたしは、大学で建築を学んでいます。現在四年生で、都市計画・まちづくりについて勉強する中で、地元でもある西荻窪をモデルとし課題に取り組みたいと考えています。地域の方々と実際にお話をする中で、どんな街が求められていて西荻窪にはどんなポテンシャルが秘められているかなどを学びたいです。自らが主体となって、愛着の持てる地元を目指したいです。
59	地域で生活をする人、働いている人、学んでいる人、訪れる人そしてこの「人」には子供から高齢者までを含むが、それらの人々が自分が望む地域(まち)をそれぞれどんどん出し合って、かつ、「なぜ、そう思うのか」も並べあい、地域のこれからを(このままで良いという結論も含め)模索し、時間をかけ実現する会にしたい。
60	西荻エリアを中心に脱プラスチック、リユース容器推進を進めたいと思っています。地域の店舗や区民への推進普及、イベントでの推進を図りたいと思っています。エコのまち西荻、杉並をめざして皆さんと協力していきたいと思っています。
61	できるだけ、前向きな街づくり会議を期待したい。参加する立場で住人として、明るくすみやすい街づくりに自分ごととして参加したい
62	道路問題に少し関わって思ったことは、地域住民が行政と対話する場がないこと。また、住民同士の対話をする場がないこと。地域住民が、賛成、反対だけでなく、「どこが反対か」、「なぜ賛成か」、を対話して方向性(単純な賛成、反対ではない)を行政が持帰り、政策を作成する。ということが出来ないのか！！！！と強く感じました。デザイン会議はこうしたことが出来る場として機能出来れば！！と思い応募しました。
63	大好きなまちである西荻らしい西荻窪を、未来に繋げていくために、地域の方々と話し合う場があることを嬉しく思います。西荻らしさは、既に様々な話し合いの場で共有されてきました。急行が停まらないなど便利すぎないところ、商店街が栄えているところ、個人商店が多く帰ってきたくなるまちであるところ、若手クリエイターが集い友達をつくりやすい固有の駅前空間、美味しいものがたくさんあり食の楽しみがあるところ、など、住民の方々は口を揃えておっしゃっていました。ハードもソフトも、西荻窪らしさを醸し出す、重要な要素となっていることは、プレスト参加者の中でも、共通言語となっていたように思います。市民意見を話せる場ができ、これからは、市民が想う西荻らしいまちづくりを、行政や、市民が、実行していける場ができるものと想像しています。これから、市民意見がどのように市政に反映されていくのか、新しい、これからのまちづくりの手法を、行政と市民が、どのようにつくっていくのか、楽しみにしています。
64	宮前3丁目に住んでいます。以前は西荻窪駅へ循環のバス路線があり便利でした。その後、バスの運行が無くなりとても不便な地域になりました。高齢化社会でこの際、生活しやすい地域にできればと思い参加したいです、
65	限定的な参加方法でなく、関わりたい人がそれぞれの分野で関われるようなトランジションタウンのような活動運営と、地域での合意形成を図り行政との調整をしていく協議会的な場が上手く相互乗り入れできるような仕組みができれば良いと思います。

高円寺地域

No	まちへの思い、デザイン会議について
1	高円寺北一丁目に住んでいます。都市計画道路事業が始まりますが、この道路が地元にとってより良い道路となつてほしいと思っています。 より良い道路とするために、住民・関係者は何をすべきか、考えたいと思います。
2	住みやすい環境を護る
3	一体的な道路とまちづくりに期待します。
4	高円寺の街は、区内では人情味があり、若者を呼び込み、若者の街そしてカオスの街になっています。この街の特徴を生かした街作りが必要です。杉並区が、そこに暮らす人、生業を営む人の意見を大切にして寄り添って形での街作りを進めることを望みます。
5	区民との話し合いの場を設けさせて下さりありがとうございます。この地に家を買ひ、老後まで住む覚悟でいる30代の一区民として、ぜひ積極的に参加していきたいです。
6	会場の設定、準備等良く考えられているな、と感じています。
7	地域の方や地域以外の方、年代も様々な方々から意見が聞けて良かったです。子どもの意見も聞きたかったです。
8	都市計画道路だけでなく、地域全体のまちづくりへの関心が広がったような気がする
9	地域のことは、そこに暮らす住民が話し合いを重ね、将来を決定することが大切であると考えます。高円寺北1丁目は中野再開発の影響を強く受ける地域です。将来を見据えて、地域がどうあるべきかを考えてみたい。
10	狭い道に住宅地があり、緑が多い杉並区の町並みの良さ、特徴を残しつつ、防災、安全、安心なまちづくりをすすめることが肝要だと思います。時間がかかるのは、止む得ないと思います。地域の繋がりを壊すような道路計画は、再検討が必要だと思います。難しいかも知れませんが道路規格を落す、歩行者中心にして路上店舗を設け一方通行にするなどのアイデアを考えても良いと思います。移動時間や車の利便性を第一に考えるのではなく、地域の人々が安心して生活でき、歩く人々が安全な地域となるような計画を望みます。
11	折りに触れ意見をまとめ区にお送りしておりますがどの様に扱われているか良く分かりません。なんらかのフィードバックを希望しております。
12	「みどり豊かな 住まいのみやこ」という、杉並区の方針に基づくデザインに興味があります。 杉並区民の皆さんの目指す街が解りやすく図形化されていけば良いと思いますし、そこに自分の思いの一端も含まれれば幸いと感じました。 現在、私が持つ街への懸念は、身近なところで言いますと、8軒ほどが面する私道がディベロッパーらしき業者に所有者が代わり、期日までに、この個別買い取りを迫られました。もし買ってしまつたら、長年愛してきた住まいも、人参や大根の様に一軒づつ抜かれて行くことでしょう。 つまり、そういうディベロッパーが、新高円寺地域にも目を付けているという事です。残念だが防げず、土地の持ち主が変わつたとしても、街のデザインの指針があれば、次に何を創るかの内容が変わってくるのではないのでしょうか？ 私自身は、住まいの隣にある樺の大樹を中心に、「人と物と事を繋ぐ木々に囲まれたスペース」というコンセプトで新高円寺でギャラリーを営み、生活にクリエイティビティを取り入れる愉しみを提案しています。 どうぞ宜しくお願いいたします。
13	変貌著しい高円寺北1丁目及び隣接の中野駅周辺地域全体の中で、高齢化や子育て支援などの課題も踏まえ、道路の早期かつ安全、住みやすさと調和した整備を推進する会となることを期待する 道路拡幅計画が長期的視野に立ち、地域の実情を十分に踏まえた上、周辺地域(区外も含む)計画との調和、安全、使い易さに配慮して、行政のセクショナリズムを廃し、時限性をもって実施されることを期待 政策遂行の枠組みを無視した意味のない空論、政党の宣伝に利用するものは排除したい
14	都市整備をテーマに杉並区と協働する機会は少ないため、前回の「さとことプレフト」につづきこちらの会に応募させていただきました。 デザイン会議では、他地域に比べ遅れがみられる高円寺地区の都市整備について思いを共有させて頂けたらと思います。
15	行政と住民は一体として協調し共同体を運営するという観点から、区長が推進しておられるこの取り組みに敬意を表します。
16	いろいろなことを考えるきっかけにしたいです。
17	高円寺で生まれ高円寺で育ちました。高円寺を愛しています。スクラップ&ビルドではなく 今あるものを活かして行くことが大切。リノベーションこそ大切。
18	担当が「沿道のまちデザイン係」ですが、道路整備を前提に沿道の建物をどうするのかを検討するものであつてはなりません。「住民合意」を最優先に公平公正、平等、民主的に進めるよう強く求めます。「住民主体」を実効あるものにするために「さとことプレフト」のように運営等を民間企業に委託するようなことはしないほしい。

南阿佐ヶ谷地域

No	まちへの思い、デザイン会議について
1	<p>南阿佐ヶ谷駅から尾崎橋までの133号線計画は地域住民の反対にも拘わらず、測量が実施され、自動車道路にする意向が東京都にある。</p> <p>これに対しては次の理由で自動車道路から人間優先の「善福寺川公園」への遊歩道として整備して、今まで実施した測量の資料を活用して自然環境を活かした素晴らしい風致地区としたい。</p> <p>①133号線のために対象地域の買収費用投資の経済的効果はほとんど期待できない。</p> <p>②尾崎橋以降の善福寺川流域の自動車道路は公園の価値を減少させる</p> <p>③緊急時の消防車両通行止めという理由は道路幅員に適した小型・中型の車両に変更すれば可能であろう。短い距離の自動車はむしろ交通渋滞をまねく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善福寺川緑地と和田堀公園の散策路としての価値は自然の草花など素晴らしい。また、川には野鳥が飛び武蔵野の風景が残る。 ・事例として「堀切菖蒲園」の駅からのアプローチや都立水元公園が、素晴らしい。
2	<p>1.中杉通り延伸の計画はやめていただきたい。数十年前に決まった計画なので今の情勢に合わせて考えてほしい。</p> <p>2.杉一小の移転は病院跡地ではなく今の場所の方が良いのでは。病院跡地は沼地でもある。小学校が今よりも遠くなる子供もおり不便を感じる。</p>
3	<p>みんなが安心して暮らせる穏やかで豊かな暮らしを継続したいという期待から参加させて頂けたらと思います。</p>
4	<p>幼少時から住んできたこの地域の環境を守りたい。全世代にとって住みよい住民本位の街であってほしい。</p>
5	<p>仮称ではあるが、「デザイン会議」という名称が腑に落ちない。</p> <p>正しい日本語で多くの人々が即座に納得できる名称を考えてほしい。安易に外来語や、中途半端にそれに由来するカタカナ表記を使う事自体にまず違和感を覚えるのは私だけではない。</p> <p>こうした姿勢が参加者が限られる原因になっていると、主催者が自覚する必要があるだろう。</p>
6	<p>阿佐谷で生まれ育ち、先輩方より様々な思いを継承しております。</p> <p>中杉通りの延伸計画は、大規模地震が起こった際に和田堀公園に避難するための重要な道路であると考えます。阿佐谷の人々が安全に避難するためには五日市街道までの道路が必要だと思います。</p> <p>道路を通すということは、そこに住んでいる人が移動しなければならないので、その思いを大切に、長い期間をかけて実現しなければなりません。</p>
7	<p>都市計画道路の建設・拡幅は立ち退きや道路によるまちの分断などでメリットが多くなっていると思います。また、拡幅を契機としたまちの高層化は好ましくありません。デザイン会議の在り方にも不安があります。阿佐ヶ谷北東地区の「振り返る会」「オープンハウス」では多くの方が懸念を示したのに計画はそのまま遂行するとされ、参加者の意見はいつさえ聞き入れられませんでした。このようなことを繰り返さないようにお願いしたい。</p>
8	<p>どのような内容か参加してみようと思いました。今日は1部のみで失礼させていただきますが、主旨が合えば今後も参加してみようと思っています。</p>
9	<p>都市計画道路補助133号線成田東地区につきまして関心があります。参加できるようお願いします。</p>
10	<p>デザイン会議という名称に違和感があります</p> <p>今のままが良いので、新しい道路ありきで街をデザインしたくないです</p>
11	<p>地域づくりという観点では、地域特性に即した commons の形成が願いです。ただしそれは、ひととひとの関係のみならず、インフラ面の改善が必要で、その意味でデザイン会議の意義を感じます。</p>
12	<p>阿佐谷地域の場合は甲州街道に向かう中杉通りの開拓と思われます。</p> <p>住宅も可なり密集して来ており住民の理解に苦勞の事かと察します</p>
13	<p>杉並区が大好きで、ずっと暮らしていたと思うので障害者が今よりさらに暮らしやすい地域になるように期待しています</p>
14	<p>暮らしを中心とし、ヒトと自然を思いやる街を大事にしたい。道路建設ありき、道路中心の街づくりには賛同できません。</p>
15	<p>近隣に住む人として、どうなるか気になる。</p>
16	<p>障害者がいつでも気軽に地域内を移動できる環境と交通機関が整備されること</p>
17	<p>緑豊かな自然環境を守りたいと思います。</p> <p>さとことプレストでは様々なキャリアの方々のご多様なご意見を伺い勉強になりました。こうした住民の知恵、意見を結集したら、さらに素晴らしいまちづくりができると思いました。</p>
18	<p>住みやすく歴史もあり、地域を詳しく知れば知るほど、面白い人が住み、こだわりのお店のあるエリアだと思います。道路計画の話がメインと思いますが、新しい道路を作る目的・新しい道路があるとうまがかわるのか・現状の課題は新しい道路をつくるという解決方法しかないのか等、今一度、一住民として考え、近隣の方の意見も伺い、行政のみならずと会話する機会となればと期待しております。</p>
19	<p>阿佐ヶ谷に生まれ育った者として、愛する街の未来と一緒に考えたい。できることを自分でも少しずつ実行していきたいという思いで、参加希望します。</p>

20	初めてお話しをいただき今までの経緯を存じ上げないので、今回はお話しを聴かせていただきます。しかし、区が今までと同じような上から目線ではなく、区民目線で日本の中の杉並区を外観すると、加えて、新しい技術も含めると、答えは大きく変わるのではないのでしょうか？でも待たなしの方向性。より良き議論に参加できればと思います。宜しくお願いします。
21	阿佐ヶ谷に生まれ育ち、育児をし、後期高齢の今も我がふるさと杉並で快適に過ごしています。何よりも、豊かな自然に囲まれた杉並が大好きです。既に杉並の東と西には環状7号線、環状8号線が整備されています。今世紀は、人類の存亡をかけて、国、都道府県を挙げて、脱炭素、カーボンニュートラルに本気で取り組まないと、異常気象や環境破壊を止める事ができません。杉並も「緑豊かな」とうたっている以上、今まだある、緑豊かな自然を壊して、そこに住む住民の意志を無視し、幸せな家庭を破壊して、そこに新しく道路を建設する等と言う政策は非常に馬鹿げているし、時代錯誤も甚だしい。自分の事だけを考えれば、自分が生きている間、便利でまだ空気が綺麗で、野鳥や蝶々がのどかに飛んだり、鳴いたりしているのを見られたら、それで良いのですが、コンクリートの道路より、この緑豊かな環境は、杉並の宝、私たちの子や孫に残すべき財産なのです。
22	古くからの街並みを守って共存してゆきたいと思います。
23	70年近く4世代で住み続けた成田東の地にとっても愛着がありずっと住み続けたい。都道133号線の計画地にかかる家に住んでいて、この道路の必要性を全く感じません。南阿佐ヶ谷地域、133号線の建設計画を凍結して優先整備路線からはずすことを望みます。
24	これまで一般的であった、まちの形(道路・みどり・建物など)や機能(防災・交通・環境など)のみに基づく議論、必要か不要かの二択の議論などではなく、新しい議論のあり方や進め方が生まれることを願っています。特に、反対・賛成の応酬のみでは、何も生まれてこないと思いますので。
25	デザイン会議の持ち方は、道路事業ばかりに終始することなく、周辺部の地域を巻き込んだまちづくりとしての取組が必要だと思います。そして、3地域でそれぞれ課題や状況が異なることから、デザイン会議のやり方は異なった形で組織され、運営されるべきと考えます。例えば、阿佐谷は、133号線の南伸は重要ですが、これまでに阿佐谷が、杉並区内の中でどういう位置づけにあるべきかということさえも、あまり論じられてきていないことから、道路の課題に入る前に、3地域の中では、最も重層的議論が必要で、時間をかけるべきだと思います。そして、「さと子とプレスト」では、区民が個々に意見を出すだけで終わっていますが、デザイン会議は、結果を出せる議論の場となるべきだと思います。
26	一人でも多くの方の困り事が解消されることを願っています。 私は歩行障害から点字ブロックが苦手です。 中杉通りの道幅が狭いなか、点字ブロックが敷かれていて、歩きにくい。 店によっては、通路にはみ出して駐輪されていて、なお歩きにくくて困っている。
27	自然豊かな杉並区を残したいです。
28	岸本区長と協働して、よりよい杉並区をつくっていききたい。
29	成田西の善福寺川緑地近くに父祖以来居住。両親が近隣住民と善福寺川緑地創設に尽力したので、この阿佐ヶ谷南地区の緑豊かな住環境を子々孫々残したいと思い、道路問題、善福寺川上流調節池問題等に対する活動を行っている。
30	地域のために、そこを訪れる人たちのために、そして見逃されがちな障害者のために、多数ではない可能な限り多くの人のためになる結果に結びつけばと思っています。
31	これから来る、人口減少時代という、まったく新しい未知の社会に対して、街づくり、都市計画はどうあるべきか、杉並を例にゼロから考えてほしいと思います。
32	3つの地域の対象エリアの確定、最終目的を予め明確にすることが必要。 例えば、南阿佐ヶ谷であれば、133号線延伸道路、区役所改築、中杉通り(阿佐ヶ谷駅南口～区役所)など、どこまでを含むのか(私は含めて考えるべきと思う)。
33	町内会ももっといろいろな行事に参加させていただきたいです。
34	初参加となります。 安心安全、便利な環境と、地域ならではの個性を両立させるにはどうしたら良いのか、探るべき時に来ているのではないのでしょうか。 他の街との違いや魅力を再認識して、豊かな日常に繋げていききたいです。
35	私は、建設コンサルタントとして、半世紀以上の間、海外の都市計画、地域計画を行ってきた来ましたが、地元の東京都や杉並区の都市計画が、私が行ってきた計画と全く異なった方向が示されていることに驚いています。例えば、多くの都市計画道路や区道の計画は、都民および杉並区民が望む計画が示されているとは言えません。道路だけではなく、都市再開発、洪水対策、ミドリのあるまちづくりなど、いつから今のような問題だらけの計画が示され実行されてきたのか検証して、改善策を提案したいと考えています。すでに、現役を引退した身ではありますが、これまでの経験が役立てれば、幸いです。
36	先日の「さとことプレスト」の議題だった中杉通り延伸(都市計画道路補助133号線)について、より区民の認知が必要と感じました。実際に居住している方々の意見を多く収集することで、課題解決のための、より具体的な方向性が見えてくるのではないかと思います。 今回のデザイン会議では、今後どのような「協働」ができるのかを考えたいです。

37	133号線の延伸でどんなメリットがあるのかわからないので、計画の詳細を知りたいです。計画ができた当時は何が目的で、それは今でも同じくメリットが大きいのか、話し合う機会としたいです。
38	杉並区から、日本を変えていきたい思いが強いです。その為には、身近な所や地域での、お金、人材などに対する戦略、どこを節約して、どこに注力、配分していったら良いか、地域住民の方々と意見交換しながら、日本の発展に少しでも貢献していきたいです。さとことブレストに参加して、様々な方々、杉並区の担当の方と意見を交換することが出来て、大変有意義でした。しかし、まだまだ、既成概念から抜け出すこと、そもそも既成概念にとらわれていること事態気が付かれていない状況を鑑みると、違った経歴や角度での議論や検討の必要性を強く感じました。
39	さとことブレストに参加させていただいて、区長が本当に区民との対話を重視しながら区政を進めて行く覚悟をお持ちなのを感じました。50万人もの区民の声を聞きながら、方向性を定めて区政を進めるのは、区長はもとより区役所の職員の皆さんにとっても大変困難な道のりだと思いますが、続けることが未来の杉並区をつくる礎になると、私は信じています。いまの子どもたちに住みやすい街を残せるよう、デザイン会議を始めとするこの対話重視の区政を我慢強く継続してもらいたいと思います。
40	阿佐ヶ谷の将来のまちづくりについて関心があります。いろいろな意見を聞いてみたいです。
41	本天沼、清水、阿佐谷南、成田東と杉並区内に居住し続けて40年弱になります。杉並区が今後も23区の中でも自然環境を残しながら、全ての世代の方に住みやすい住環境であることを実感しながら暮らしてきました。その中で、人口減少が見込まれる中で半世紀以上前の周辺が田畑だった頃に作成された計画に沿って多額の金額を用いて道路を作ることが区民にとって必要なものなのかは改めてゼロベースで考えるべきかと思います。
42	計画道路の見直しを
43	子育てをするにあたり、善福寺川緑地を気に入り、3年前に南阿佐ヶ谷に新居を構えました。居心地の良い自然環境と区内では貴重な広々とした土地をもっと地域コミュニティの拠点として活用できればと、区内のママ、パパで団体を立ち上げました。 杉並区のまちづくり助成金もいただきながら、善福寺川緑地や和田堀公園できずなサロンを主催したり、善福寺川緑地の利活用に関する住民アンケートを実施したり、近隣の子連れおでかけスポットを紹介するSNSを運営したりしています。 デザイン会議では、中杉通りの延伸についての賛否にとどまらず、この地域が子育て世帯にもそうでない方々にとってもより住みやすく、かつ災害時にも強い地域になるよう、東京都とも連携を強め、善福寺川緑地の利活用を含む幅広いテーマで、建設的な意見交換から、政策への反映まで行えれば良いと考えております。よろしく願いいたします。
44	杉並に転居して来て、10年が過ぎました。多分、ここが最後になると思います。素敵な区民の方々にも沢山出逢いました。暮らしはハードだけの問題では無いと思います。ソフトを含めた暮らしのデザインを一緒に考えたいと思います。会議はこの3か所だけではなく区内の色々な所で開催される事を望みます。せめて、7つの区民センターで開催されると幸いです。現行の地域懇談会の活用を含めて。 是非、官民協働の場として検討して頂けると嬉しいです。
45	当時はまだ田畑だった70年以上前に決まった都市計画道路補助133号線。今、まち、住宅、緑を破壊して道路をつくる意味が全くありません。長い時間をかけてできた緑豊かな閑静な住宅地である成田東、善福寺緑地周辺を守るのが、住民の願いです。そのために、破壊にしかならない道路建設は断念してください。133号線道路建設を前提とした対話は、住民は誰も求めていません。基礎自治体杉並区は、東京都に住民の思いを伝え、住民を守るのが仕事です。
46	計画道路について、片方の意見だけでなく、賛否両論を聞きたいと思います。
47	住民の思いを反映する重要な会と思われるので期待します。